

## 議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年11月25日（火）16時～18時	
開催場所	明石市役所 議会棟2階 大会議室	
テーマ	介護業界における諸課題について	
出席議員	委員長	正木 克幸
	司会者	竹内 きよ子
	記録者	中川 夏望
	その他	出雲有希子、石井宏法、家根谷敦子、河村和歌子 (以上、文教厚生常任委員)
参加人数	医療法人社団なごみ会あさぎりむつみ荘 3名 社会福祉法人三幸福社会清華苑 3名 社会福祉法人明石恵泉福祉会 3名	
報告内容	<p>○市議会からの報告「明石市における取組及び現状について」（石井宏法委員） 人材確保と定着の取組について 本市が行っている福祉の仕事に興味を持ってもらうための取組は下記のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉のしごと魅力発信事業（YouTubeでの発信）</li> <li>・福祉のしごと就職フェア in 明石</li> <li>・試験費用の助成</li> <li>・ケアマネジャー試験対策講座</li> <li>・資格支援の補助金制度</li> <li>・新人若手のフォローアップ研修</li> <li>・虐待防止研修など</li> </ul> <p>○参加者からの現状報告 【医療法人社団なごみ会あさぎりむつみ荘】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 物価高騰による施設経営の難しさ 施設経営を圧迫している。消防設備機器のメンテナンスにも多くの金額がかかるようになった。物価高騰に対する支援をお願いしたい。</li> <li>② ケアマネジャーの高齢化 24時間の連絡体制の確保や地域課題に取り組むことも求められているが、介護職員より給与が低いのが現状。本市では昨年度より「介護支援専門員継続支援給付金」の制度がある。来年度も制度の継続をお願いしたい。</li> <li>③ 介護職員の不足 求人を行っても応募がない。紹介手数料は年収の25～30%が目安となっており、経営を圧迫している。介護福祉士の資格を持ち、業務に従事しているのは6割程度にとどまっている。介護職へ復帰するきっかけを作り出すような機会を求める。</li> <li>④ 感染症対策への大きな負担 リスクが高い入居者が多いため、流行が落ち着いても感染対策を続ける必要がある。コロナ禍と変わらない対策を講じているが、補助金は終了し、物品支給もなくなっている。</li> </ol> <p>【社会福祉法人三幸福社会清華苑】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 人材不足 訪問介護の危機的状況とケアマネジャーへの連鎖的影響 朝のピークタイムには依頼が集中するため、サービスの提供を断念せざるを得ないケースが発生している。</li> </ol>	

	<p>② 制度疲労 現場の実態と乖離した制度的負担      駐車禁止除外指定者標章の新制度による影響、行政手続き・郵送物に関する課題と「見えない業務」の拡大、ショートステイ利用における制度的障壁がある</p> <p>③ 報酬との不均衡 責任・業務範囲のあいまい化と善意への依存</p> <p>④ 質の評価 市民に見える形で、質の高いケアを実践する事業所への「認証制度」例えば介護DXの認証、手厚い人員配置への認証、地域貢献制度への認証などを評価し公表することで、市民が選ぶ際の基準としてほしい</p> <p>⑤ 人材確保・定着 介護人材を「明石市の財産」として確保・定着させるための具体的な支援策      戦略的な広報活動：「無資格・未経験から始められる専門職」というポジティブな実態を広報あかしで積極的にPRしてほしい。      介護職員への保育園入園における優先的配慮：社会インフラを支えるエッセンシャルワーカーとして配慮をご検討いただきたい。</p> <p>【社会福祉法人明石恵泉福祉会】</p> <p>① 介護人材確保のための人材確保推進に繋がる市独自の支援金について      介護人材を取り合うのではなく、他の地域から福祉人材が来てもらえる仕掛けを講じてほしい。</p> <p>② 明石市独自の介護人材バンクの設置について      人材紹介会社の紹介費用や派遣単価が年々増加し、経営を圧迫している。明石市独自で把握している介護人材を市内事業所に紹介できるシステムを構築できないか。</p> <p>③ 福祉の魅力発信事業の推進      中学生に対して手厚い福祉教育の機会を増やすことはできないか。</p> <p>④ 物価高騰補助金の継続      引き続き物価高騰補助金の継続をお願いしたい。</p> <p>⑤ 介護支援専門員の地域福祉計画などの参画の機会の確保      介護支援専門員が地域福祉計画などの参画の機会がない。介護保険事業などに特に居宅の専門員が参画することで、現状課題が市政に反映されると考える。</p> <p>⑥ 職能団体と市による介護支援専門員の業務内容の明確化のパンフレット作成      介護支援専門員としてできることとできないことの基準があいまいである。よくわかる介護保険と合わせるなど、明石市と職能団体共同でパンフレットを作成してはどうか。</p> <p>⑦ 介護支援専門員確保に対する施策 処遇改善に代わる制度の構築      他市では処遇改善金に代替する助成があり、待遇改善につながっている。介護支援専門員人材確保に有効ではないか。</p> <p>⑧ 訪問介護事業所の業務対応の改善（市営住宅の車両保管場所確保、独り暮らし高齢者の介護認定の短縮）      市営住宅などに介護事業所の車を停める場所がなくて困っている。市として駐車スペースを確保できないか。</p>
<p>報告内容に関する意見交換</p>	<p>○意見交換      （正木委員長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャーは法定外業務ということを認識しながら業務を遂行しているのか。業務を明文化することは可能か。</li> </ul> <p>（恵泉福祉会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金に関することはできないと伝えている。信頼関係を壊してしまうのではないかと不安なことではないが、毅然と断っている。長い電話、介護保険と関係ない相談があることもある。どこで切り上げることができるのか、改善するのは難しいと感じる。</li> </ul> <p>（清華苑）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急な買い物、ヘルパーさんが帰って思い出したものを買ってほしい等の要望はある。</li> </ul> <p>（石井委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それをどう伝えれば伝わるのか。</li> </ul>

	<p>(恵泉福祉会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図でわかるものがわかればいいのでは。簡単で分かりやすいパンフレットがあればいいのでは</li> </ul> <p>(清華苑)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケアマネジャーの仕事ではないとなったときに、では誰がするのか。国がやらなくていいと言ったとして、困っている人を見て見ぬふりをできないという方が介護現場は多い。</li> </ul> <p>(正木委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新人など、基準が不明瞭な方がいるのでは。法定外項目としてパンフレットにするとして、何項目くらいあればいいのか。</li> </ul> <p>(恵泉福祉会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多岐にわたるので難しい。やる人とやらない人がいるような状況は、ケアマネジャーの仕事の標準化がとれない。</li> <li>・ 大きな柱（金銭管理、保証人、病院に連れていく、携帯電話の操作、買い物掃除家事、ペットの世話、医療行為への同意、救急車への同乗、付き添い、入院セットの準備など）はある。親族と連絡がとれない人もいる。契約の際にお伝えはしているが、契約書を隅々まで見るのは難しい。簡単なものがあればわかりやすいのでは。</li> </ul> <p>(出雲副委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誰がするのか、となったとき、そのまま放置しておくことは難しい。こちらがやると市が窓口を設置したらわかりやすいのか。本来の仕事に専念できるのでは。</li> </ul> <p>(むつみ荘)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現実に金銭を支払う能力がない人が多い。貧困で困っている人が多い。そこに対してどうするのか。家で転倒して助けてほしいとなった場合、どこにもお金が払えなくてヘルパーが雇えなければケアマネジャーがやっている。現状、ケアマネジャーが助けているところと一緒に助けてくれる組織があれば助かる。</li> </ul> <p>(出雲副委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政がカバーしていくべきではないかと考える。</li> </ul> <p>(清華苑)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信頼関係があるからお願いできている。困っているからと市役所に電話できる判断力がある人がいるとは限らない。市から報酬があったら、よくわかった人がサポートできる。そういうやり方もひとつ。</li> </ul> <p>(出雲副委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人材不足はずっと続いている。昔は続かないのかと思っていたが、最近は福祉の業界を辞めていると感じる。</li> <li>・ 人がいなくて利用者を断ったことはあるのか。どういう工夫で人材を確保しているのか。</li> </ul> <p>(清華苑)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訪問介護事業はヘルパーがいらないから断ったことはある。珍しいことではない。人がいない上にヘルパーの高齢化があるので、対応できない。</li> </ul> <p>(出雲副委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ その時はどうしているのか。</li> </ul> <p>(清華苑)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケアマネジャーにお返ししている。</li> </ul> <p>(恵泉福祉会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 良くある話。希望が通らなくてその枠に空いている事業所を探すことはある。それに時間がとられることはある。</li> <li>・ 人的資源が足りないことが一番。子育てだけでなく、介護人材でも他市から来るような市になってほしい。潜在的な方にアプローチできたらと考えている。</li> </ul> <p>(むつみ荘)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通所リハビリテーションが減っている。送迎範囲が減っていつている。朝と夕に集中してしまうので、短時間利用の方で賄って収入を確保している。</li> </ul>
--	--

- ・事業所の努力としては、この秋にケアアシスタント制度を導入。60歳以上の方に入ってもらっている。リネン交換、お風呂の準備などをやってもらい、採用につながっている。1日3時間、週3回。清掃の委託業者に来てもらっている。配膳業務まで手伝ってもらうなど、介護職員の業務を減らす努力をしている。  
(出雲副委員長)
- ・報酬があがれば人は来るのか。何が障壁になっているのか。  
(清華苑)
- ・喜ぶとは思いますが、動機付けについては効果がない。疲弊している。記録にないものはやってないとされる。何をしているのかわからなくなっている。虐待の研修の件数を増やすなど、本来の業務に集中させてもらえない。委員会に出る、書類を書く、研修を受けるなど、行政が厳しい。対利用者のためにやらなければならないことは認識しているが、厳しい。お金をどこに使うのか。紹介会社に使うのか。ハローワークが全く機能していない。福利厚生に使っていない。職員配置、新しい取組を評価するなどの市独自の認証制度など、お金をかけずにできることを実施してほしい。  
(石井委員)
- ・どの段階で福祉の仕事に就こうと思う人が多いのか。中学校でなければ明石商業が定員割れするのも納得できる。  
(清華苑)
- ・介護している人、されている人に出会ったときがそのタイミング。そのタイミングを増やすことが重要では。トライやるウィークの何割かは福祉施設としてくれるとその機会になるのでは。  
(石井委員)
- ・トライやるウィークに中学生が一斉に行くと業務が厳しくなるのでは。  
(清華苑)
- ・受入れすると言っても来ないこともある。高齢者だけでなく、障害者施設もある。  
(恵泉福祉会)
- ・福祉の魅力は介護というイメージが多い。魅力発信の際に、いろんなことができるということを伝えてほしい。出会う場の際に、モチベーションになるのでは。  
(むつみ荘)
- ・明石商業に社会人枠を入れようとしたが、入れてくれなかった。これが失敗だった。福祉科を出ても看護の方に行くという子もいる。トライやるウィークに来てくれても入ろうという気持ちはない子が多い。小学校のときから伝えておく必要があるのではないか。  
(清華苑)
- ・人材の呼び込み、育成は真摯に魅力を伝えていく必要があると認識している。人の「死」に触れるということは貴重。いかに素晴らしいことをしているのかを育成でしっかりと伝えていくことでもっともっと輪が広がっていく。

明石市議会議長 国出 拓志 様

令和7年12月17日

上記のとおり報告します。

文教厚生常任委員長 正木 克幸